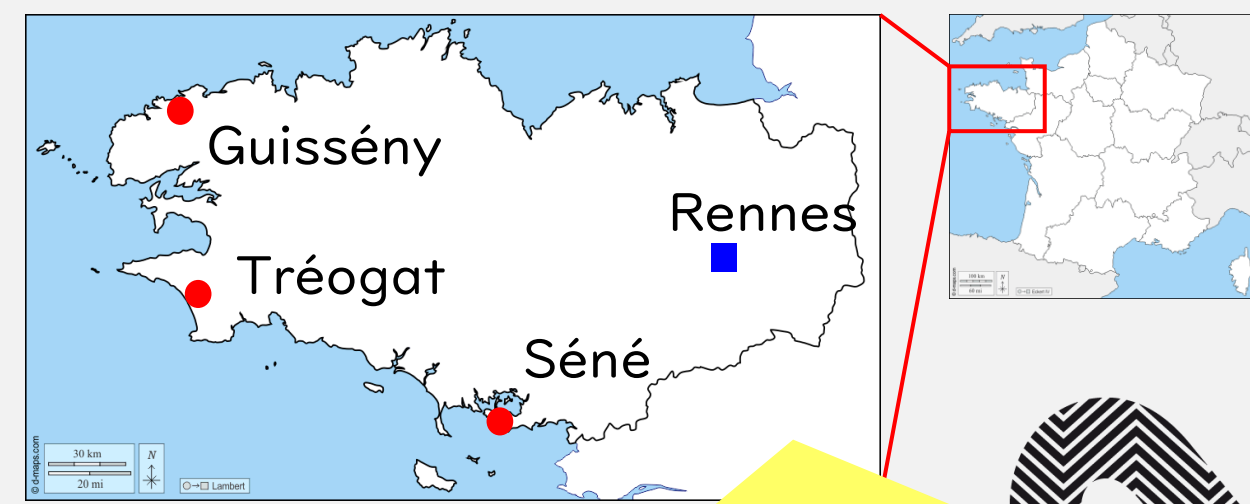



居候生活 en Bretagne

水産学部水産学科4年 伊藤穂香
レンヌ第二大学 (2023年1月~12月)

居候生活を全力で楽しむコツとは何か？

フランス・ブルターニュ地方の一次産業や暮らしを学ぶために、夏休みを利用して住み込みボランティアを2か月半行った。海と畑しかない田舎での暮らしは、一見娯楽がなく厳しい環境に見えるが、そこには人生や人付き合いを楽しむヒントが隠されていた。



滞在先  WWOOFというサイトを利用し、気になる農家にメッセージを送り、滞在先を見つけた。スーパー、マルシェ、オンライン注文、自宅販売所など、様々な販路を展開していたのが印象的だった。

カキ養殖場 Séné ハーブ農家 Tréogat 野菜農家 Guissény

8か月間学んだ レンヌ第二大学

- 左寄りな考えが根付き、フランス国内では学生運動で有名。
→週に1度はデモやBlocage (大学封鎖)に見舞われた (2023年前半)
- 日本語クラスでのアシスタントも経験!

語学学校CIREFE

- バックグラウンドが様々な学生
- プロから学べる演劇や歌のクラブ活動
語学力も度胸も鍛えられる!



特技はカキの高速殻開け! ハーブの使い方は無限大 若者の伝話は速くてわからない

1. 誘いはなるべく断らない

お出かけ・散歩・カヤック・新しい仕事、どんなことにも全力で挑むことで、自分の「好き」が見えてくる。

はじめてだらけの仕事

一番の出会い Fest-noz

新しい遊び



居候中のある一日
 7時: 起床・朝食・支度
 8時: 仕事・昼食準備
 14時 みんなで昼食
 15時: 自由時間 (昼寝・散歩・海水浴)
 20時: 夕食
 22時: 就寝

一日はBiseで始まり
 Biseで終わるのがフランス
 (挨拶のキス)



ブルターニュのダンスパーティーで、誰でも参加できる。みんなで小指を繋いで踊る楽しさに魅了され、合計8回参加した。ブルトン語にも興味を持ち、大学ではブルトン語初級の授業を履修した。



Santé ! Yec'hed mat !



南仏の画家夫婦が教えてくれたgrand art
いくつになっても自分の人生を歩んでいる
カッコいい大人たちに出会った。

2. 食事は全力で楽しむ

田舎の一番の娯楽は食事! 気がつけばフランス語会話力も伸びていた...

みんなでまかない作り

全国各地域の料理術を盗んだ。しかし衛生観念の違いに辟易することも...



ブルターニュの味 カキ・ムール・クレープ・ゆでタマキビ



基本は生ガキで食べる
焼ガキはバターたっぷりフランス風

食への高い情熱は、フランスと日本の共通点?



日本食を作る

「日本食を作って」と言われることもしばしば。限られた材料で工夫しながら作ることは難しかったが、サバイバル能力や想像力がのびた。 **たいていのものは何でも作れる!**

これはペスカタリアンラーメン
まさかの一番人気は煮卵!



食事のおしゃべり

超高速フランス語会話についていけず、一人寂しく黙々と食べた日もあったが、気づけばフランス語会話を楽しいと思えるようになった。フランス人にとって、食事のおしゃべりは最重要!

3. たまには自分のペースで行動する

24時間他人と過ごす共同生活もさすがに疲れてくる。

そういうときこそ、自分の気持ちを優先させて、一人で過ごすことが必要になってくる。

散歩・海水浴・読書・料理・caféを飲む...



- 日常をの小さな幸せを見つけて味わうことが、共同生活でも人生でも大事。
- 豊かな食や自然を全身で楽しむことが一番の心の栄養になる。
- 「自分の家のように過ごして。好きなようにしてね。」の言葉は、気を遣いすぎる心を楽にする魔法の言葉。